

1 学校評価（生徒・保護者・教職員）アンケート結果

・別紙資料を参照。

2 学校評価

(1) 全般を通して (※アンケート問1~2)

【自己評価】

楽しく学校に通っているという肯定的な回答の割合が高かったことに加え、大人が感じている以上に生徒は夢や目標を持って生活をしていることがわかった。おおむね良好な結果と言える。後述するように改善すべき課題は散見されるが、今後も職員一同一層努力し、すべての生徒が夢や目標を持って楽しく学校に通えるよう改善を重ねていきたい。

【学校運営協議員から】

○多数が肯定的であるものの、さすがに中学生となると勉強、部活動や今後の進路や人間関係でも悩みが多くなりますし、辛いと感じることもあると思う、生徒と保護者の数が一致しているということは子供の変化を感じ取っているという現れと信じたい。夢や目標を叶える為の準備が本格的に始まるのが中学校だと考えており、保護者、教職員の方々とサポートしていきたい。

●多くの生徒が楽しく学校へ通えていることは良い。しかし、楽しく学校へ通えないと感じている生徒と同程度の保護者がいることから、生徒へ向き合い要因を確認し改善点を見出してほしい。

○「夢や目標をもっているか」と「学校に楽しく通えているか」の関連性はどうか。関連性があるのであれば個別対応が必要であり、関連性がないのであれば大きな目標はまだ見つけられずとも、身近な好きや熱中できることを見つけることで、楽しく生活を送れるよう支援をお願いします。

(2) 学習面について (※アンケート問3~6)

【自己評価】

授業のわかりやすさについては、おおむね良好であった。しかし、学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」への到達にはさらに努力が必要である。具体的には、生徒が話す・聞く・考えるなどの活動時間を増やすこと、そして生徒の主体性を引き出す教師のコーディネート力、評価力、コメント力の醸成が必要である。これらについては校内・校外研修等で指導力を向上させていく。

一方で、家庭学習時間については非常に残念な結果であった。家庭で毎日平均2時間以上勉強したり、家でも読書に親しんだりしている生徒が半数程度しかおらず、目指す生徒像の「課題をもち、進んで学習する生徒」には不十分な結果と言える。今後家庭学習について、授業、家庭と連携して改善していく。

【学校運営協議員から】

●授業のわかりやすさについては良好、話し合い活動については積極的ではあるものの先生から見た場合の認識のずれがある。活動時間を増やすことでレベルアップを期待したい。学習時間、読書週間については2時間以上学習、読書習慣が出来ている生徒が半数程度という驚きの結果だった。長時間勉強できる生徒と出来ない生徒に分かれてしまっているということなので、違いは何なのか気になります。

- 生徒たちが授業を理解していることは良い。学校のコメントにもあるが、進んで学習する状況では無いようだ。将来の夢を叶えるためにも家庭学習、読書習慣の向上は必要と感じる。
- 今の状況では、夢や目標を聞かれても答えが出ないのかなとも思います。中学生になると現実が分かるから子ども達がしっかり前を見ていると感じます。
- ほとんどの子が授業をわかりやすく感じているようですが、さらなる理解の深化・学力向上・きめ細かな指導をお願いします。部活等もあり、家庭学習を十分に取ることは難しいかもしれませんが、質の高い家庭学習をできるように、保護者も学習しやすい環境を作ってあげる努力が必要かと思います。中学生だと読書の時間は作りづらいかと思いますが、少ない時間でも環境づくりが大切かと。
- 授業で分かりやすいと答えている生徒が家庭学習で「わかる」「できる」ようになるといういなあと思いました。
- 自宅学習の時間が少ないのはなぜか。メディアコントロールに問題があるのであれば、家庭環境の改善が求められます。

(3) 礼儀・思いやりについて (※アンケート問7~9)

【自己評価】

気持ちの良いあいさつをする、社会のきまりを守る、思いやりを持って接するなどについては、おおむね良好な結果であった。特にあいさつは、生徒会、部活動を通じて生徒から生徒へと、また日々の先輩の姿から後輩へと受け継がれている。これらの本校のよい伝統が、目指す生徒像の「さわやかで、思いやりのある生徒」の育成に良い影響を与えている。また、小学校段階で丁寧な生活指導がされていることも地域で連携された重要な取り組みで、中学校としては大変助かっている。

【学校運営協議員から】

- あいさつについて、学校内でのあいさつは丁寧すぎるほどで完璧です。保護者の否定意見は学校外での挨拶が出来ていない事だと思います。部活の送迎、近所のスーパーや近所で会った時など、できない生徒が多い。学校内だけの特別丁寧な挨拶より、どこで会っても軽く会釈するくらいのほうがよっぽど礼儀正しいし、自然です。
- 自然体であいさつできるように、引き続き指導いただき、気持ちの良いあいさつを広めてほしい。
- 社会のきまり、思いやりをしっかり意識して生活しており、良い結果なので今後も継続できるよう努めてほしい。
- 体験教室で来ている子を見ると、あいさつはしっかりできています。部活の影響も大きいと思います。野球部の子は声大きいなど。社会規範を守っていると思います。引き続きの指導をお願いします。
- いつも南中生のあいさつには頭が下がります。気持ちがいいです。これからも続けてほしいです。
- 小学校段階から継続してよい伝統が引き継がれていることは高い評価が得られます。

(4) 健康・運動について (※アンケート問10~13)

【自己評価】

健康面については、規則正しい睡眠、バランスのよい食事、めあてを持った運動、メディアコントロールにおいて、生徒の約8割が肯定的な回答であるのに対し、保護者・教員

からはより低い評価となった。目指す生徒像の「健康で、たくましく心身を鍛える生徒」の姿としては、物足りなさを感じた。

生徒に対しては、科学的根拠に基づいた丁寧な指導で改善を促し、良い生活習慣は健康維持にとっても有用であることを根気強く伝えていく必要がある。特にメディアコントロールについては、約半数の保護者ができていないと回答しており危機感を感じている。家庭学習時間にも関わるため、ネット依存症にならないよう早期に家庭と連携して改善に努めていきたい。

【学校運営協議員から】

- 睡眠、食事については肯定的が多数だが保護者、教員から少し低め。特に睡眠は健康な成長に重要な役割を果たすので徹底させたい。運動については部活動で十分やっているが、文化部など内容に差がある、また引退した生徒は進学に向けての家庭学習で時間を割くので運動できないと思う。
- 中学生は、部活動や学習など多忙のため、規則正しい生活のリズムや食事、運動がおろそかになっている部分が家庭で見られているようだ。心身を整え、元気に学校生活を営むために、生徒自身が自覚して行動するよう促すことが大切と思う。
- 大人でもメディア依存度が高いと感じている。保護者も自分自身を見つめ直して、子供たちと一緒にメディアコントロールすることが、将来の家庭環境にも影響するので家庭のきまりを見つめ直すことが大切である。
- データから睡眠が良くとれていない子も見受けられます。睡眠がとれていないとパフォーマンスも発揮できなくなります。メディアコントロールとの相関関係上、メディアコントロールと併せての指導をお願いします。PC・ネット・ゲーム・SNSもあるが、今何が一番大切か生徒自身気付いてもらいたい。
- メディアコントロールに課題が見られます。自己管理できるようになるためには、家庭環境を見直すことが必要と思われる。自己評価にあるとおり、家庭内ルールを子どもと決めて、親子で実践することが大切であると思います。

(5) 学校運営等について (※アンケート問 14~20)

【自己評価】

生徒の様子をとらえて指導に生かす、悩みや相談に対して親身に対応する、要望に対しての迅速な対応について、生徒からは高い評価を得たが、保護者からは一部否定的な評価をいただいた。また、いじめがない温かな学級づくりについても少なくない数のご意見をいただいている。これらのご意見を真摯に受け止め、さらに注意して改善に努めていきたい。

教育環境整備については、安全面を優先として迅速に対応しており、高評価であった。また、学校からの情報発信として、ホームページや学年だよりを活用して子どもの活動の様子を見ていただいている。特に新型コロナウイルス感染症予防のため、参観等に制限がある中であつたが、今年の文化祭は、観客数を昨年度から改善するなどできる限り直接見ていただくとう努めた。また、今年度からは、PTA会報を地域の回覧板に入れていただき、地域の方にも学校の様子を詳しく知っていただけるようにした。今後も開かれた学校づくりに努めていきたい。

【学校運営協議員から】

- 生徒に対する要望はおおむね高評価で一部いじめの問題や不登校の問題もあり否定的な意見もあるようです。生徒のわずかな変化を感じ取り対応してほしい。教育活動の様

子を発信しているようですが特にホームページなどを見ている人は少なく、もったいない気がする。環境の整備については備品、設備の老朽化で多方面から改善点が指摘されています。優先順位を決め、対応していただきたい。地域との連携について、非常に高い評価で、これからも地域、PTAと協力を深め、生徒たちの地元愛を育てていきたい。

●温かい学級づくり、生徒の悩み相談に対して否定的な意見があるので解消できるよう努めてほしい。施設が老朽化している。優先順位を見定めて更新や改修をお願いしたい。家庭でのデジタル環境が整ってきていることから、デジタルでの配信を積極的に活用し、ペーパーレス化を進めても良いのではないかな。

○概ね学校経営がスムーズに行えていることがうかがえます。特にいじめや不登校ゼロになるよう引き続き親身で熱い指導をお願いします。環境整備は敷地が広いので大変かと思えます。地域の力・行政その他の力をフルに活用していただければと思います。

○「いじめの無い学級づくり」や「子供の悩みや相談への対応」、「一人一人をよく見て生かす」面で、一部見えていない部分があるとの自己評価ですが、教職員一人一人が問題を背負わず、学校全体の問題として取り上げ解決に導いていくことを願います。また、保護者と教職員が信頼し合えるような関係作りが何より大切だと思います。

(6) 総括

【自己評価】

アンケート結果から、教育目標の「夢・愛・自立」の中で、特に自立の部分が課題であることがわかった。自分から進んで学習する、自分から良い生活習慣で過ごすなどの自己コントロール力を家庭と連携しながら育てていく必要性を強く感じた。中でも、基盤となる健康的な生活習慣の確立は第一で、急務である。

また、学習面では、生徒が主体的に活動できるよう工夫改善し、もっと学びたいと意欲が持てるような授業づくりの研究に努めたい。生活面では、人と関わるのが楽しいと感じるいじめのない温かい人間関係作りを進めるとともに、生徒会活動や学級活動でも主体的に取り組んでいく姿勢を育てていきたいと考えている。

【学校運営協議員から】

○生徒たちが明るいのが良い習慣になっていると思います。

○学習に関してですが、時代の変化もあり、学習・授業をめぐる環境の変化（ICTの利用等）の中で、学習の仕方、学力の定義そのものも変わってきていると思われます。授業を取ってみても私の時代のような一方的な授業・詰め込み式学習といったこととは一線を画すものがあります。授業を拝見いたしますと、先生方の工夫が感じられ、子ども達も自ら自発的に参加している印象を受けます。現在高校での授業・カリキュラムは専門化・多様化しています。普通科が少なくなっています。よって進む高校によって将来の職業も決まってしまうかのようなようです。中学生のこの時期に人生のプラン・ビジョン・進む道がある程度指し示しておく必要があると実感します。自分で夢や目標を立て、それに向かってどのようなプロセスがあり、努力しなければならないのか、自ら考える、それを我々が導いていかなければならない責務があります。昔と比べ、家業を継がなければならないとか、家を継がなければならないという縛りはなくなっていますが、できれば将来子ども達には地元で活躍してほしいという願いはあります。そのためにもしっかりと学んで、まずは外の地域や県外にも出てもらって、外から故郷を見る視点を持ってもらい、のちには故郷に還元する。逆説的ではありますがそう願っています。高校進学・受験も入れる高校ではなく、入りたい高校。目標は大きく持ってほしい。

○総括に記載のあったとおり、自立心を育てることは中学生の年代では最も大切なことであると思います。立志式もその一つの動機づけになると思うので継続していただきたいです。自己コントロールの環境づくりについて学び、無理なく行動にうつせるような工夫が求められると考えます。

3 学校運営協議会の評価を受けて

- あいさつについては、よくできてはいるが、さらに一歩進めて、学校や人との交流を心から楽しいと感じ、「自分から自然と」あいさつが出るような温かい環境をつくる。いじめのない学校のためにも、人間関係醸成に努める。
- 学習面では、教師が率先して「わかる、できる授業」を実践するとともに、生徒の主体性を引き出すあらゆる工夫をする。また、生徒に対しては、学習する目的を自覚させ、自ら家庭学習等に取り組む姿勢を育成する。生徒が自分の人生を考え、夢に向かって粘り強く取り組む進路指導が重要と考える。
- 生活面では、健康的な睡眠時間の確保やメディアコントロールなど、自己コントロール力を高めて、より良い生活習慣をつけることが生活全般のベースになる。逞しい体作りもまず良い睡眠が大切なので、睡眠時間確保の習慣作りをしっかりと行いたい。